

企業等に対する卒業生に関するアンケート結果概要

I R室

教育成果や課題を把握するため、2018年度から企業等を対象に、本学卒業生に対する社会からの評価についての調査を実施しています。

2020年度については、2019年度の調査結果を受け、「自己研鑽する力」を本学学生が身に付けるためにどのような取組をする必要があるかを調査しました（2021年1月～2021年2月に教務課・キャリアサポート課（現学生課）が実施）。

【結果概要（別紙集計データ参照）】

<全体>

- ・回答要請企業等数は、過去7年間で3名以上の内定があった企業等182社であり、回答数が68社（約37%）となった。
- ・回答企業等の所在地は、大阪（32%）、東京（22%）、京都（6%）が上位となっている。
- ・回答企業等の業種は、薬局（31%）、病院（28%）、製薬企業（15%）、ドラッグストア（12%）、公務員（病院）（1%）、公務員（行政）（1%）、その他（12%）という構成である。
- ・卒業生の進路・就職状況から教育成果等を検討し、また、企業等がどのような能力・資質等を求めているかを確認するため、「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」「グループ②：製薬企業、化学系企業、食品系企業」、「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」に区分して、以下のとおり、結果確認を進めた。

<問2：「自己研鑽する力」を本学学生が身に付けるためにどのような取組をする必要があるか>

○2019年度調査の結果、様々な「実社会で必要と思われる能力・資質」を本学卒業生が発揮するにあたり、「コミュニケーション能力」の養成に並び、「自己研鑽」する力を養成することが総合的に最も重要であるという結果を受け、本学学生が「自己研鑽する力」を身に付けるためにはどのような取組をすることが有効であるか、調査した。

○選択肢は次のとおり（複数選択可）。「1. 大学が実施する生涯学習事業への参加」「2. 研究室での活動」「3. 大学でのグループ学習」「4. 後輩等への学修支援の参画」「5. 業界研究（大学が主催する進路・就職サポートを活用するもの）」「6. クラブ・サークル活動」「7. 通信環境を利用した自学自習」「8. 大学以外で実施される勉強会・講習会への参加」「9. 業界研究（大学以外が主催する進路・就職サポートを活用するもの）」「10. 他大学・他学部学生等との交流」「11. 新聞・書籍の継続的な購読」「12. 留学」「13. アルバイト」「14. ボランティア活動」

○グループ毎の回答比較

（上位3位以内を赤字、下位3位以下を青字で記載）

グループ①：病院、薬局、ドラッグストア

(8) 大学以外で実施される勉強会・講習会への参加	12%
(2) 研究室での活動	11%
(1) 大学が実施する生涯学習事業への参加	10%
(10) 他大学・他学部学生等との交流	10%
(3) 大学でのグループ学習	9%
(13) アルバイト	8%
(6) クラブ・サークル活動	8%
(4) 後輩等への学修支援の参画	7%
(9) 業界研究（大学以外が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	6%

(11) 新聞・書籍の継続的な購読	4%
(5) 業界研究（大学が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	3%
(7) 通信環境を利用した自学自習	3%
(14) ボランティア活動	3%
(12) 留学	1%
(15)その他	1%

グループ②：製薬企業、化学系企業、食品系企業

(8) 大学以外で実施される勉強会・講習会への参加	12%
(2) 研究室での活動	10%
(7) 通信環境を利用した自学自習	10%
(11) 新聞・書籍の継続的な購読	10%
(6) クラブ・サークル活動	8%
(10) 他大学・他学部学生等との交流	8%
(12) 留学	8%
(1) 大学が実施する生涯学習事業への参加	6%
(3) 大学でのグループ学習	6%
(4) 後輩等への学修支援の参画	6%
(14) ボランティア活動	6%
(5) 業界研究（大学が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	4%
(9) 業界研究（大学以外が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	4%
(13) アルバイト	2%
(15)その他	2%

グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他

(2) 研究室での活動	10%
(7) 通信環境を利用した自学自習	10%
(8) 大学以外で実施される勉強会・講習会への参加	10%
(11) 新聞・書籍の継続的な購読	10%
(6) クラブ・サークル活動	8%
(10) 他大学・他学部学生等との交流	8%
(12) 留学	8%
(1) 大学が実施する生涯学習事業への参加	6%
(3) 大学でのグループ学習	6%
(4) 後輩等への学修支援の参画	6%
(14) ボランティア活動	6%
(5) 業界研究（大学が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	4%
(9) 業界研究（大学以外が主催する進路・就職サポートを活用するもの）	4%
(13) アルバイト	2%
(15)その他	0%

- ・「研究室での活動」「大学以外で実施される勉強会・講習会への参加」については、全グループで上位となっている。
- ・「アルバイト」は2、3グループで下位となっている。
- ・グループ1では「大学が実施する生涯学習事業への参加」が上位、グループ2、3では「通信環境を利用した自学自習」が上位となっている。

<問3：「自己研鑽」の一環として、貴社・貴施設において推進されていることについて>

○「自己研鑽」の一環として、推進していることについて調査を行った。

○選択肢は次のとおり（複数選択可）。「1. 生涯学習事業への参加」「2. 書籍・新聞等の購読」「3. 社員・職員間の交流」「4. 他社・他施設との交流」「5. 出向」「6. 留学」「7. ボランティア活動」「8. その他」

○グループ毎の回答比較

（上位2位以内を赤字、下位2位以下を青字で記載）

グループ①：病院、薬局、ドラッグストア

(3) 社員・職員間の交流	27%
(1) 生涯学習事業への参加	21%
(4) 他社・他施設との交流	18%
(2) 書籍・新聞等の購読	15%
(8)その他	10%
(5)出向	7%
(7) ボランティア活動	3%
(6)留学	0%

グループ②：製薬企業、化学系企業、食品系企業

(2) 書籍・新聞等の購読	29%
(3) 社員・職員間の交流	19%
(8)その他	19%
(1) 生涯学習事業への参加	14%
(6)留学	10%
(4) 他社・他施設との交流	5%
(5)出向	5%
(7) ボランティア活動	0%

グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他

(3) 社員・職員間の交流	19%
(2) 書籍・新聞等の購読	15%
(4) 他社・他施設との交流	15%
(5)出向	15%
(8)その他	15%
(7) ボランティア活動	11%
(1) 生涯学習事業への参加	7%

(6)留学	4%
-------	----

- ・社員・職員間の交流が全グループで上位となっている。
- ・グループ 2、3 において、書籍・新聞等の購読が上位となっている。
- ・グループ 1 において生涯学習事業への参加が上位となっている。
- ・グループ 1、3 において留学が最下位となっている。

以上